

# 衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 29. 4. 21 第 193 回国会第 17 号

4 月 21 日（金）、第 17 回の委員会が開かれました。

## 1 厚生労働省設置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 16 号）

- ・ 塩崎厚生労働大臣、盛山法務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・ 採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民進、公明、維新 反対一共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 富岡 勉君（自民）

- ・ 新設される医務技監に期待されている役割及び使命について伺いたい。
- ・ 医務技監は、ゲノム医療の実現等保健医療分野の組織横断的な諸課題に対して、どのような役割を果たすのか。
- ・ 臓器移植数の低迷を踏まえ、移植数を増加させるために何が重要と考え、今後どのように取り組んでいくのか。

### 中野 洋昌君（公明）

- ・ 医務技監は、新型インフルエンザ、エボラ出血熱等の公衆衛生危機や災害時にどのような役割を果たすことが期待されているのか。
- ・ 4 月 12 日の経済財政諮問会議において厚生労働大臣が表明したデータを活用した保険者機能の強化に係る具体的な取組について伺いたい。
- ・ がん検診やその結果要精密検査となった者を受診につなげていくため、厚生労働省は対象者にどのように支援していくのか伺いたい。

### 阿部 知子君（民進）

- ・ 医務技監が国際保健分野で活躍できるよう、関係省庁や関係機関と緊密に連携することが重要と考えるが、厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・ 国内外の保健分野の課題に取り組むに当たっては、女性など社会の中で弱い立場にある者の健康に着目した対策が必要ではないか。
- ・ 我が国が医療保健分野で国際貢献していくためには、N G O 等に対する協力や外国で活躍する人材への支援を強化すべきではないか。

### 岡本 充功君（民進）

- ・ 第 1 類感染症のワクチンについて有効性等が確認されれば国として早期に備蓄すべきと考えるが、政府の取組方針を伺いたい。
- ・ 政府全体で医系技官の処遇改善に取り組み、必要な人材を確保すべきではないか。
- ・ 医系技官が本省に勤務しながら臨床経験を積めるよう、働き方の見直しが必要ではないか。

### 水戸 将史君（民進）

- ・ 医務技監の新設によって期待される政策上の効果を伺いたい。
- ・ 医系技官のキャリアの集大成とも言える医務技監には、具体的にどのような資質や経歴を求めるのか。
- ・ リスクを伴う再生医療等製品の条件及び期限付き承認制度による早期承認が医療保険財政に及ぼす影響について、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

### 高橋 千鶴子君（共産）

- ・ 医務技監は、「保健医療政策について総合的なアドバイスを首相や厚生労働大臣に対して行う」との「保健医療 2035 提言書」で提言されたとおりのポストとなっているのか。
- ・ 医務技監は職務上、製薬企業等と利益相反関係があってはならず、国会報告等によりチェックする仕組みを設けるべきではないか。
- ・ いわゆる「デザイナーベイビー」を産み出すことも技術的に可能となってくる中、ゲノム編集について生命倫理上許されない領域を明確にすべきではないか。

## 河野正美君（維新）

- ・厚生労働省の幹部職員との役割分担を含め、厚生労働大臣は医務技監にどのような役割を期待するのか伺いたい。
- ・医系技官が占めるポストが固定化されると組織の硬直化等の弊害も予想されるが、今後の人事の在り方について厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・平成29年度の厚生労働省の組織再編において雇用均等・児童家庭局を再編して子ども家庭局を設置する理由やその目的について伺いたい。